

# いわサポ通信

臨時特集号

令和2年6月15日発行

岩沼市市民活動サポートセンター  
(いわぬま市民交流プラザ内)

〒989-2441

岩沼市館下二丁目3-1

☎ 35-7205 FAX 35-7265

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が全国に拡大され、市内においても長期間にわたって学校の休校と公共施設の休館を余儀なくされてしまいました。また、3密（密閉、密集、密接）を防ぐという観点から外出自粛が求められ、市民活動をされている皆さまにはさまざまなご不便をおかけしています。いわぬま市民交流プラザも5月17日まで休館となっていたことから、今回のいわサポ通信は、休館中の5月に行った市民活動団体へのアンケート結果を臨時特集号として発行することにいたしました。アンケートの内容は、市民活動団体の基本的な事柄、市（市民活動サポートセンター）への期待、このような厳しい状況下での活動（対応）の仕方などについて、主にいわぬま市民交流プラザを利用されている任意の39団体に記入を依頼し、28団体から回答をいただきました。ありがとうございました。

このアンケートに寄せられた他団体の取り組み方などを参考にいただければ幸いです。

## 主なアンケート内容

### ◆ 会則または規約等がありますか。

・ある 24団体      ・ない 3団体      ・作成予定 0

### ◆ 収支報告書（予算・決算報告書、会計報告書等）を作成していますか。

・作成している 21団体      ・作成していない 6団体      ・作成予定 0

### ◆ 年間の活動資金の状況を教えてください。

・10万円未満 9団体      ・10万円以上50万円未満 8団体  
・50万円以上100万円未満 4団体      ・100万円以上 4団体

### ◆ 活動を行う中で課題はありますか。

- ①若い世代とのつながりが希薄になってきている。会員の高齢化と会員が増えない。
- ②メンバー全員が集まることがなかなかできないことと出前講座などの人員調整に苦慮。
- ③活動の周知、参加者募集にかかる費用対効果。活動資金が厳しく会員からの臨時徴収でしのいでいる。
- ④運営委員（スタッフ）のモチベーションの持続と後継者の不安。
- ⑤「女性の活躍を」と、掛け声だけに終わっていて、具体的な政策が出ていない。また、男性の意識を変えるのは時間がかかる。どんな企画が市民にアピールできるか模索している。
- ⑥子どもたちへの支援をしたいと思い始めたが、何事も素人のため苦勞している。

### ◆ 活動を行う中で市（市民活動サポートセンター）に期待することはありますか。

- ①NPO相談日を増やすか、サポセン職員のアドバイスがあってもいいのでは。
- ②町内会単位などの小さなコミュニティーでのコミュニケーションの取り方を教えてほしい。
- ③市民に広く活動を知っていただくため、チラシやポスターまた情報誌「なかま」を活用させてほしい。
- ④ネットワーク作りに力をいれてほしい。特に若い人たちへの呼びかけに苦慮している。
- ⑤広報の仕方（チラシ作り、SNS活用方など）の講習会を行ってほしい。
- ⑥プラザ内で他の団体と共に発表できるイベントを増やしてほしい。
- ⑦市民活動各団体に資金援助をしてほしい。
- ⑧活動の成果としての発表の場を紹介してほしい。
- ⑨会員が多いので企画などがあれば早めに告知してほしい。
- ⑩貸部屋は、ルールに拘らず臨機応変の対応をお願いしたい。

アンケート



◆ **活動を行う中で連携・協力している団体等がありますか。**

- ・ある 15団体
- ・ない 11団体

- ①福祉関係団体、子育て団体、地域包括支援センター、町内会、子ども・おやこ劇場関係などと連携。
- ②直接関わってはいないが、演奏依頼をいただくことがよくある。
- ③ごみ拾いの団体と個人的に協力。他町内の同種団体と連携。

◆ **活動を行う中で団体間の交流の場として、どのようなものであれば参加したいと思いますか。**

- ①他の団体の活動を現場で見学するような機会があれば嬉しい。
- ②地域で活躍している人たちとの出会いの場、学びの場。「なかま交流プラス」に参加させてほしい。
- ③美化活動に関連した団体、関係者との意見交換の場。
- ④イベントなどを行っている団体に、準備から開催までの進め方など聞いてみたい。
- ⑤「市民夏まつり」や「よい市」と連携できればと思っている。

◆ **新型コロナウイルス感染症により外出自粛や公共施設の休館が続く現在の状況について。**

・ **どのような活動（対応）をされていますか。**

- ①オンラインや電話での打ち合わせ、また、回覧板を活用。
- ②事務局便りは内容を変更して情報発信に努めている。
- ③会員には楽譜やCDを作って配布し各自で練習。
- ④多くの会員が長年の経験者で自分の道具を持っているため、自宅で創作に励んでいる。

・ **どのような情報等が必要ですか。**

- ①このような状況下、また、新しい生活様式のもとでの活動の仕方。
- ②情報は適切に発信されていると思うので、あとは自ら入手に努めることが大事。
- ③市内の人材登録者などの情報がほしい。

・ **団体の活動上どのような課題がありますか。**

- ①緊急事態宣言解除後の活動再開のタイミング。自粛警察と言われる人たちからの誹謗中傷など。
- ②今までの生活様式に戻らなければ活動はできないのではないかとと思っている。
- ③運営するスタッフのモチベーションの維持が難しい。
- ④音楽などの活動が当面自粛と言われており、いつから活動できるか不透明。
- ⑤市外在住の会員が多く、市内在住または通勤通学に限定されると活動が厳しい。
- ⑥今年はイベントを考えるより会員の研修の年にしたい。

◆ **市民活動についてのご意見・ご質問等を自由にお書きください。**

- ①HP上でプラザ貸室の予約状況が確認できるシステムをお願いしたい。
- ②自分たちの演奏活動をもっと市内の方に活用してほしい。交流会などにも積極的に参加したい。
- ③市からの助成金について、条件などを少なくし使いがたを良くしてほしい。
- ④市民活動の楽しさを市民におおいにアピールし、多くの人を市民活動に引っ張り込んでほしい。
- ⑤同じ志を持った人たちが、同空間で話し、同じ時間を共有することが大事ということに気づいた。
- ⑥サポセンの方々は、「言葉ではなく心で」市民活動している人たちと接してほしい。
- ⑦アンケート集計だけに終わらせることなく、市民の声を市に伝え、市民活動の拠点として更なる活動の場となるようお願いしたい。
- ⑧高齢化社会において、市民が元気な仲間づくり、活動がなされるよう指導をお願いしたい。

**市民活動専門相談員の紹介**

特定非営利活動法人 地星社 布田 剛さん

今年度より市民活動相談を担当することになりました。地域づくりや、団体の設立・運営に関することなど、どうぞお気軽にお問い合わせください。

相談日時：毎月第4火曜日 13時30分～16時30分

